

「ひろしま未来教師セミナー」の第4回の受講者のアンケート結果及び感想等をお知らせします。

【アンケート結果】

(12月21日 101名回答) ※ 4:とても 3:まあまあ 2:あまり 1:まったく

<満足度>	4: 92人	3: 8人	2: 1人	1: 0人
<理解度>	4: 89人	3: 11人	2: 1人	1: 0人
<今後の見通し>	4: 98人	3: 3人	2: 0人	1: 0人



【受講者の感想】

【学級づくりの基礎①～人間関係づくり～】

- 自分を大切にすることが他者との友好的関係づくりにもつながることが分かった。教師が生徒一人一人の自己肯定感を育てていく必要があるのだと感じた。(大学3年)
- セミナーを通して、「常に子どもの成長の味方になる」とは、子どもの調子に合わせて、機嫌を取ったりすることではなく、勇気づけることや励ますことにあわせて、指導したり、叱ったりすることも必要であることを学べた。これは、以前のセミナーの「教育的瞬間を見逃さない」ことにもつながっているように感じた。(大学3年)
- 時間をかけて働きかけを続けていくことで、学級全員がつながりをもつことができる集団になり、自己肯定感が高まることが分かった。(大学3年)

今回のセミナーを受けて、教育実習に行く際には、意識して学級経営や教室環境をしっかり見ていきたい、また、教師になったときには、指導者の先生方のようにになりたい、やってみたいという目標をもった人が大勢いました。

【授業づくりの基礎②～教室環境～】

- 教室環境において、児童一人一人のことを考えた掲示物や展示がされており、児童の自己肯定感を高める努力がされていることがよく分かった。(大学3年)
- ただ漠然と教室をきれいにしたり掲示物を貼ったりするのではなく、ねらいや目的をもって、教室環境を整えていくことで、生徒たちにとってもどこに何があるか分かりやすく、過ごしやすい教室になると感じた。また、教師が意図をもって教室環境をつくっていくことで、生徒も自ら教室環境を整えようという気持ちが芽生えてくるのではないかと思った。(大学3年)
- 教室の掲示から、他者を認め合い、大切にすることが育っていくことが伝わってきた。(大学4年)

今後の見通しをもちながら、日々努力されていることが伝わってきました。また、他の受講者の取組をすぐ実践されている人もいますね。

<セミナーを受けて、今…>

- コロナ禍でもできることを考え、オンラインで模擬授業をした。(大学3年)
- まずは、知ることが大切だと考え、他の受講生も取り組んでいた、教育心理学や教育相談に関する本を読んだ。(大学3年)
- 情報と数学の学習指導案をつくり、模擬授業を行うことで再び自分の改善点を知り、考え直すことをした。(大学3年)
- 教育に関するニュースを積極的に見るようにしている。(大学院後期)
- 子どもの成長を見守り、支え、願い続ける先生になりたいと考えている。セミナーを通して、この思いが強くなった。(大学2年)